

設 立 趣 旨 書

特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター
設立代表者 山 本 光 二

1 趣旨

私たちの暮らしを取り巻く環境問題は、いまや世界人類存亡の問題とって過言ではありません。それらの問題に向き合い、持続可能な社会を実現させることが求められています。

現在、多くの市民の環境活動が、様々な成果を上げています。しかしながら一方で社会基盤の未成熟さが浮き彫りとなり、思うような活動の展開や、十分な成果が得られない状況も見られます。

そこで私たちは、環境市民活動への理解を促進するとともに、活動の活性化を図るためのネットワークづくりが必要と考え、任意団体「近畿環境市民活動相互支援センター」を設立し、人と人のつながりのきっかけとなる場づくり、情報交流・活動基盤強化のためのセミナーの開催など、支援事業を進めてきました。

私たちは、顔と顔の見える関係を大切にしながら『人、もの、資金、情報、ノウハウ、マネジメント、専門性』を相互に交流・活用させることが重要だと考えています。

また、より多くの方々と問題点を共有し、世論の高まりを大きな原動力と考え、市民レベルの環境活動を継続していくための政策提言をしていくことも重要だと考えています。

これらの中間支援活動を通じて、個々の団体の基盤強化のみならず、環境セクター全体の市民活動の連携と基盤強化に取り組み、持続可能な社会実現のために貢献していきたいと考えました。

そこで、より事業を拡充し、社会的役割を担うため、特定非営利活動法人の設立を申請いたします。

このような理念ならびに趣旨をもって、私たちは特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター（愛称：エコネット近畿）を設立いたします。

2 申請に至るまでの経緯

2003年、環境分野の中間支援組織構想に賛同する有志で設立準備会を立ち上げ、約130団体にヒアリングを行なうと共に、情報交流会などの事業を重ねてまいりました。

2006年12月8日、任意団体「近畿環境市民活動相互支援センター」を設立し、環境大臣政務官や環境NPOらを招いた研修会や助成金セミナー、企業のCSR活動とNPOを結びつけるセミナーなどを開催いたしました。

2008年6月15日の通常総会にて、さらに社会的にも責任ある組織として特定非営利法人を取得し、再スタートすることを決議いたしました。